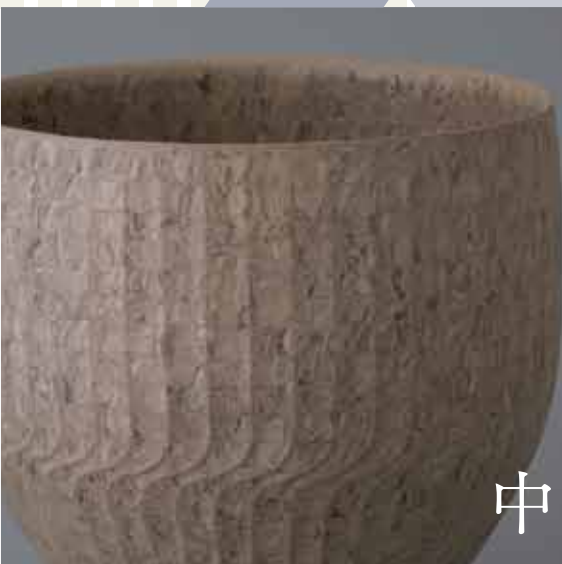


小林正秀

KOBAYASHI Masahide

第十回 I 氏賞受賞作家展

The 10th Okayama Prefectural Mr. I Development of
Rising Artists Award Exhibition

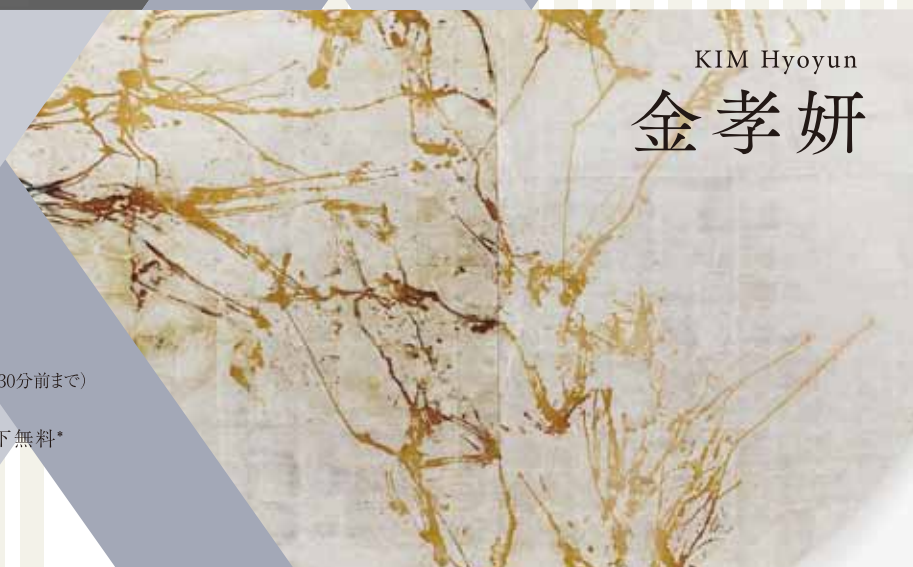


NAKAHARA Koji

中原幸治

Spur

その先にある景色



KIM Hyoyun

金孝妍

2020.11.8 | 日 | - 12.20 | 日 |

【会場】岡山県立美術館 2階展示室

【開館時間】9時-17時 ただし11月27日|金|は19時まで開館(入館は閉館の30分前まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日) 11月16日|月|、24日|火|は特別開館日

【観覧料】一般350円、大学生250円*、65歳以上170円*、高校生以下無料*

*年齢を証明できるものをご提示ください。

◎キャンパスメンバーズの学生は無料/20名以上の団体は2割引

◎特別展会期中は、特別展の観覧券でもご覧いただけます。

吉行鮎子

YOSHIYUKI Ayuko



岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

第9回I氏賞奨励賞受賞

小林正秀

KOBAYASHI Masahide

(左)《山雪》より 2020

(右)《美作》より 2018



第9回I氏賞奨励賞受賞

中原幸治

NAKAHARA Koji

(左)《備前土練込花器》2015

(右)《備前土裾濃金彩花器》2020



岡山県新進美術家育成「I氏賞」は、岡山県にゆかりのある新進作家の創作活動を支援し、次代を担う美術家を育成することを目指しています。これまでに、大賞13名、奨励賞26名の作家に賞を贈呈するとともに、受賞者の活動を紹介する展覧会を2010年から岡山県立美術館で開催しています。

本展では、第9回(2015年度)・第10回(2016年度)「I氏賞」奨励賞受賞者の作品をご覧ください。自然や人の営みの中に潜む感覚を写真により再認識させる小林正秀、陶土の特性を見究め多彩な技法と造形表現に取り組む中原幸治、伝統的な画材への探求から新たな絵画表現に挑む金孝妍、イメージネーションによる絵画で独自の世界観を示す吉行鮎子、たゆまぬ深化を続ける四人の創作の軌跡と新たな展開に、ぜひご注目ください。

第10回I氏賞奨励賞受賞

金孝妍

KIM Hyoyun

(左)《月と光、そして太閤潮》2020

(右)《水の足跡 -○□△ネガ #S2-》2017



第10回I氏賞奨励賞受賞

吉行鮎子

YOSHIYUKI Ayuko

(左)《崩れる》2020

(右)《sunflower》2020



【関連イベント】アーティストトーク

本展出品作家4名が自身の作品や制作についてお話しします。

日時:11月8日|日| 11時から

会場:2階ホール ※要観覧券

新型コロナウイルス感染拡大の影響で
会期や内容が変更になることがあります。
ホームページで最新情報をご確認ください。

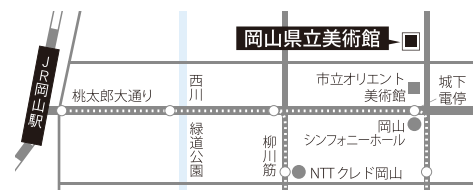
表面 上から

小林正秀《山雪》より(部分) 2020

金孝妍《月と光、そして太閤潮》(部分) 2020

中原幸治《備前土練込花器》(部分) 2015

吉行鮎子《崩れる》(部分) 2020



【交通案内】

JR岡山駅後楽園口(東口)から

| 徒歩 | 約15分

| 路面電車 | 東山行「城下」下車 徒歩約3分

| 宇野バス | 岡山後楽園バス「岡山県立美術館」下車すぐ

| 岡電バス | 藤原団地行「天神町」下車すぐ